

(具体的対応方針 構想区域総括表)

二戸構想区域

構成団体(二戸市、軽米町、九戸村、一戸町)

総面積(km ²)	1,100.29	基準病床数 (床) (a)	381	R7必要病床数 (床) (b)	291
-----------------------	----------	------------------	-----	--------------------	-----

(1)人口

	2015.10.1現在 (c)	2020年推計人口 (d)	2025年推計人口 (d)
圏域総人口	55,771	50,897	46,104
75歳以上人口	11,333	10,930	11,072
75歳以上比率(%)	20.3	21.5	24.0

(2)医療機関、介護施設の状況

総病院数	3	(f)
診療所施設数	36	
地域包括ケア病床数	83	
在宅療養支援診療所	0	(g)
在宅療養支援病院	2	
訪問診療施設数	6	
訪問診療実施件数	449	(h)
在宅看取り施設数	1	
在宅看取り実施件数	1	
医師の総数	113.9	
看護師の総数	417.4	(i)
薬剤師数	25.0	
PT・OT・STの総数	29.8	
10万人当たりの医師の総数	241.0	
10万人当たりの看護師の総数	883.2	(j)
10万人当たりのリハの総数	63.1	
1人当たりの医療費(円)	513,719	(k)
1人当たりの介護費(円)	347,476	(l)

(3)療養病床の状況(m)

病院名	病床数
県立軽米病院	45

(4)介護施設等の状況(n)

種類	定員
介護療養型医療施設	0
介護老人保健施設	300
介護老人福祉施設	539
グループホーム	63
特定施設(軽費老人ホーム等)	80
サ高住(非特定)	0

受療動向(患者住所地) (e)	
圏域内	60.4
住所地:二戸⇒医療施設:盛岡	25.0
住所地:二戸⇒医療施設:盛岡以外の県内	1.6

(5)人工透析患者の状況(o)

施設所在地	人工透析実施施設所在圏域別患者数		
	盛岡圏域	二戸圏域	県外
二戸市	11	68	1
軽米町	0	21	4
九戸村	0	14	0
一戸町	0	25	0
計	11	128	5

(6)リハビリテーション支援センター(p)

地域リハビリテーション広域支援センター
県立二戸病院

備考 (R7.11.1現在) (q)

【回復期リハビリテーション病棟入院届出病院】 無

【地域包括ケア病棟入院届出病院】 県立二戸病院(50床)、県立軽米病院(21床)、県立一戸病院(12床)

【緩和ケア病棟入院届出病院】 無

出典

基準病床数	(a)	岩手県保健医療計画(2024-2029)	10万人当たりの医師の総数		
R7必要病床数	(b)	岩手県地域医療構想	10万人当たりの看護師の総数	(j)	R5医療施設静態調査
2015.10.1現在人口	(c)	岩手県人口移動報告年報	10万人当たりのリハの総数		
推計人口	(d)	地道府県別将来推計人口(H30.3推計)	1人当たりの医療費(円)	(k)	R3年度厚生労働省 医療費の地域差分析
受療行動	(e)	本県独自患者受療行動調査[令和元年度]	1人当たりの介護費(円)	(l)	R4年度介護保険事業状況報告
総病院数	(f)	R5医療施設静態調査	療養病床の状況	(m)	東北地方厚生局届出受理医療機関名簿(R7.11.1現在)
診療所施設数			介護保険施設の状況	(n)	介護サービス情報公開システム(R6.12.1時点)
地域包括ケア病床数	(g)	東北地方厚生局届出受理医療機関名簿(R7.11.1現在)	人工透析患者の状況	(o)	人工透析患者状況(岩手県健康国保課)(R5.9.1現在)
在宅療養支援診療所			リハビリテーション支援センター	(p)	岩手県長寿社会課
在宅療養支援病院	(h)	R5医療施設静態調査	回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟入院届出病院、緩和ケア病棟入院届出病院	(q)	東北地方厚生局届出受理医療機関名簿(R7.11.1現在)
訪問診療施設数					
訪問診療実施件数					
在宅看取り施設数					
在宅看取り実施件数					
医師の総数	(i)	R5医療施設静態調査			
看護師の総数					
薬剤師数					
PT・OT・STの総数					

【具体的対応方針総括表】

稼働病床ベース

構想区域	機能区分	具体的対応方針（病床数）										R7 必要 病床 数 C	差引 B-C	構想区域 の概況	
		R7 時点 病床 A	R7時点病床（病床機能報告 R7公表）												
			R7時点病床数（Bの内訳）												
			県立 二戸病院	県立 軽米病 院	県立 一戸病 院	二戸 クリニッ ク	管整形外 科皮膚科 クリニック	二戸市国民 健康保険淨 法寺診療所	県立二戸病院 附属九戸地域 診療センター	松井内 科医院	B				
二戸	高度急性期	0	0	0							0	31	▲ 31	過剰となる機能	
	急性期	245	175	32	35	7					249	134	115	急性期	
	回復期	87	50	21	12						83	91	▲ 8		
	（再掲）地域 包括ケア病床	87	50	21	12						83	-	-		
	慢性期	45	0	45	0						45	35	10	不足する機能	
	休床等	51	0	0	1			12	19	19	51	-	-		
	合計（休床等を除く）	377	225	98	47	7	0	0	0	0	377	291	86		

※ 地域包括ケア病床は、回復期の患者が対象となります。

【具体的対応方針一覧表】

病院名	病院の役割・特色	今後の方向性（病床機能や病院が担う役割・機能など）
県立二戸病院	・圏域の基幹病院としての機能を担い、二次救急医療や、がん医療、周産期医療等の高度・専門医療を提供。	・圏域の基幹病院としての機能を担い、二次救急医療や、がん医療、周産期医療等の高度・専門医療を行う。
	・地域がん診療連携拠点病院として、専門的ながん医療を提供。	・急性期から回復期の病床機能を担う。
	・地域周産期母子医療センターとして、周産期に係る比較的高度な医療を提供。	・圏域の医療機関、福祉施設、介護施設及び行政との連携により、地域完結型医療を展開する。
	・救急告示病院として圏域内を中心に救急患者を5,200人程度（うち救急車搬送1,750人程度）受入れ。	・医師（研修医及び専攻医を含む）や医療技術者等の研修・養成支援を通じた人材育成を行う。
	・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣や被災地内の重症傷病者を受入れ。	・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チームの派遣や被災地内の重症傷病者の受入れを行う。
	・臨床研修指定病院として、臨床研修医を受入れ。	・医療・介護・福祉・行政との連携、協働により地域包括ケアシステムの一翼を担う。
	・圏域の医療機関、福祉施設、介護施設及び行政で組織するカシオペア医療介護支援センターを中心に、圏域の関係機関が連携して地域完結型医療を展開。 ・令和2年1月より地域包括ケア病棟を稼働、既存の急性期医療に加え、主に二戸市居住患者の回復期医療を担う。	
県立軽米病院	・圏域の地域病院として、基幹病院である二戸病院と連携しながら入院医療等を提供。	・圏域の地域病院として、基幹病院である二戸病院と連携しながら地域の入院機能を担う。
	・地域包括ケア病床を稼働し急性期医療後の回復期患者等を受入れ。	・急性期機能から回復期及び慢性期機能の病床機能を担う。
	・県立病院唯一の医療療養病床を稼働し、慢性期医療から看取りまで対応。	・糖尿病をはじめとした生活習慣病の治療と予防を行う。
	・救急告示病院として、軽米町を中心に救急患者を年間1,241人程度（うち救急車搬送223人程度）受入れ。 ・県北唯一の日本糖尿病学会学会認定教育施設で、他医療機関から糖尿病教育入院を必要とする患者さんを積極的に受入れるなど糖尿病診療に注力。	・医療・介護・福祉・行政との連携、協働により地域包括ケアシステムの一翼を担う。 ・令和7年度11月現在、1日平均入院患者数（一般43.1人・療養29.3人・全体72.4人）、及び病床利用率（一般81.3%・療養65.1%・全体73.9%）は、前年度並である。
県立一戸病院	・県北部における精神医療の拠点。	・県北部における精神医療の拠点病院としての機能と、圏域の地域病院として基幹病院である二戸病院と連携しながら地域の入院機能を担う。
	・圏域の地域病院として、基幹病院である二戸病院と連携しながら入院医療等を提供。	・精神科病床を有する特長を生かし、軽度から重度までのあらゆるレベルに対応する認知症ケアの拡充を図る。
	・救急告示病院として、一戸町内を中心として救急患者を受入れ。	・一般病床においては、急性期から回復期を中心とした病床機能を担う。
	・精神科救急医療施設として、県北圏域を中心に精神救急患者を受け入れ。 ・訪問看護ステーションいちのへを開設し、在宅療養を支援。	・医療・介護・福祉・行政との連携、協働により、地域包括ケアシステムの一翼を担う。 ・在宅医療の持続的充実・推進。

具体的対応方針(岩手県立二戸病院の役割と機能)

所在地 岩手県二戸市堀野字大川原毛38番地2

診療科目	内、精、脳内、呼、消、循、小、外、整、脳外、皮、泌、産、眼、耳、リハ、放、麻
------	--

病床種別 (R7.7.1現在)	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	225			5		230
	稼働	225			5		230
	非稼働	0			0		0

1日平均 入院患者数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	164.6			0.02		164.6
	R5	145.6			0.72		146.3
	R4	151.6			1.6		153.2

病床 利用率	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	73.1			0.5		71.6
	R5	64.7			14.4		63.6
	R4	67.4			31.8		66.6

平均在院 日数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	14.8			3.0		14.8
	R5	12.9			6		13.9
	R4	15.3			7		15.4

病床機能 (稼働)	高度急性期	急性期		回復期		慢性期	その他	計
		地域包括 ケア病床 (再掲)		地域包括 ケア病床 (再掲)				
		R7報告	175	0	50			
R7見込	175	0	50	50			225	

※R2.1～地域包括ケア病棟稼働開始

病院の役割・特色

- ・圏域の基幹病院としての機能を担い、二次救急医療、がん医療、周産期医療等の高度・専門医療を提供。
- ・地域がん診療病院として、専門的ながん医療を提供。
- ・地域周産期母子医療センターとして、周産期に係る比較的高度な医療を提供。
- ・救急告示病院として圏域内を中心に救急患者を5,200人程度(うち救急車搬送1,750人程度)受入れ。
- ・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チーム(DMAT)の派遣や被災地内の重症傷病者を受入れ。
- ・臨床研修指定病院として、臨床研修医を受入れ。
- ・圏域の医療機関、福祉施設、介護施設及び行政で組織するカシオペア医療福祉連携研究会を中心に、圏域の関係機関が連携して地域完結型医療を展開。
- ・令和2年1月より地域包括ケア病棟を稼働、既存の急性期医療に加え、主に二戸市居住患者の回復期医療を担う。

今後の方向性(病床機能や病院が担う役割・機能など)

- ・圏域の基幹病院としての機能を担い、二次救急医療、がん医療、周産期医療等の高度・専門医療を行う。
- ・急性期から回復期の病床機能を担う。
- ・圏域の医療機関、福祉施設、介護施設及び行政との連携により、地域完結型医療を展開する。
- ・医師(研修医及び専攻医を含む)や医療技術者等の研修・養成支援を通じた人材育成を行う。
- ・地域災害拠点病院として、災害発生時の災害派遣医療チームの派遣や被災地内の重症傷病者の受入れを行う。
- ・医療・介護・福祉・行政との連携、協働により地域包括ケアシステムの一翼を担う。

具体的対応方針(軽米病院の役割と機能)

所在地 九戸郡軽米町大字軽米第2地割54番地5

診療科目	内科、精神科、小児科、外科、リハビリテーション科
------	--------------------------

病床種別 (R7.7.1現在)	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	53	45				98
	稼働	53	45				98
	非稼働	0	0				0

1日平均 入院患者数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	41.8	30.4				72.2
	R5	39.0	25.3				64.3
	R4	37.5	23.8				61.3

病床 利用率	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	79.0	67.5				73.7
	R5	73.5	56.3				65.6
	R4	70.9	52.8				62.6

平均在院 日数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	21.7	71.3				38.6
	R5	20.7	71.2				34.9
	R4	23.5	68.4				38.9

病床機能 (稼働)	高度急性期	急性期		回復期		慢性期	その他	計
		地域包括 ケア病床 (再掲)		地域包括 ケア病床 (再掲)				
	R7報告	32	0	21	21	45		98
	R7見込	32	0	21	21	45		98

※ 地域包括ケア病床は、回復期の患者が対象となります。

病院の役割・特色

- ・圏域の地域病院として、基幹病院である二戸病院と連携しながら入院医療等を提供。
- ・地域包括ケア病床を稼働し急性期医療後の回復期患者等を受入れ。
- ・県立病院唯一の医療療養病床を稼働し、慢性期医療から看取りまで対応。
- ・救急告示病院として、軽米町を中心に救急患者を年間1,241人程度(うち救急車搬送223人程度)受入れ。
- ・県北唯一の日本糖尿病学会学会認定教育施設で、他医療機関から糖尿病教育入院を必要とする患者さんを積極的に受入れるなど糖尿病診療に注力。

今後の方向性(病床機能や病院が担う役割・機能など)

- ・圏域の地域病院として、基幹病院である二戸病院と連携しながら地域の入院機能を担う。
- ・急性期機能から回復期及び慢性期機能の病床機能を担う。
- ・糖尿病をはじめとした生活習慣病の治療と予防を行う。
- ・医療・介護・福祉・行政との連携、協働により地域包括ケアシステムの一翼を担う。
- ・令和7年度11月現在、1日平均入院患者数(一般43.1人・療養29.3人・全体72.4人)、及び病床利用率(一般81.3%・療養65.1%・全体73.9%)は、前年度並である。

具体的対応方針(一戸 病院の役割と機能)

所在地

一戸町一戸字砂森60番地1

診療科目	内科、精神科、脳神経内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、歯科
------	--

病床種別 (R7.7.1現在)	区分	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	許可	48		147		4	199
	稼働	47		147		4	198
	非稼働	1		0		0	1

1日平均 入院患者数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	19.8		122.9		0	142.8
	R5	22.5		108.3		0.2	131.0
	R4	21.5		104.4		1.2	127.1

病床 利用率	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	43.9		84.1		0	72.9
	R5	48.0		73.7		5.6	66.2
	R4	45.7		71.0		28.9	64.1

平均在院 日数	年度	一般	療養	精神	結核	感染症	計
	R6	22.1		166.5		0	90.2
	R5	22.0		171.3		6.7	81.0
	R4	21.6		146.7		7.7	73.7

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期		回復期		慢性期	その他	計
			地域包括 ケア病床 (再掲)		地域包括 ケア病床 (再掲)				
	R7報告		31	0	16	16			47
R7見込		35	0	12	12			47	

※ 地域包括ケア病床は、回復期の患者が対象となります。

病院の役割・特色

- ・岩手県北部における精神医療の拠点。
- ・圏域の地域病院として、基幹病院である二戸病院と連携しながら入院医療等を提供。
- ・救急告示病院として、一戸町内を中心として救急患者を受入れ。
- ・精神科救急医療施設として、県北圏域を中心に精神救急患者を受け入れ。
- ・訪問看護ステーションいちのへを開設し、在宅療養を支援。

今後の方向性(病床機能や病院が担う役割・機能など)

- ・県北部における精神医療の拠点病院としての機能と、圏域の地域病院として基幹病院である二戸病院と連携しながら地域の入院機能を担う。
- ・精神科病床を有する特長を生かし、軽度から重度までのあらゆるレベルに対応する認知症ケアの拡充を図る。
- ・一般病床においては、急性期から回復期を中心とした病床機能を担う。
- ・医療・介護・福祉・行政との連携、協働により、地域包括ケアシステムの一翼を担う。
- ・在宅医療の持続的充実・推進。

具体的対応方針(二戸クリニックの役割と機能)

所在地: 二戸市石切所字森合32番地1

診療所名: 医療法人青松会二戸クリニック

1 診療科目

診療科目	内科、消化器科、外科、泌尿器科
------	-----------------

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
	R7報告	0	7	0	0	0	7
	R7見込	0	7	0	0	0	7

3 その他(他の医療機関との機能連携等)

二戸医療圏において、慢性維持透析を行っている施設は当院のみである。
合併症等で専門治療が必要な場合は、近隣の基幹病院に治療を依頼しているが、血液透析導入時、軽度の合併症(内シャント不全、感染症、摂食嚥下障害)を併発した際、また、前立腺膀胱等泌尿器科の手術も行っているため、入院病床が必要である。

具体的対応方針(二戸市国民健康保険浄法寺診療所の役割と機能)

所在地:二戸市浄法寺町小池6番地1

診療所名:二戸市国民健康保険浄法寺診療所

1 診療科目

診療科目	内科、小児科、整形外科
------	-------------

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
	R7報告					12	12
	R7見込					12	12

3 その他(他の医療機関との機能連携等)

・二戸市浄法寺地区の医療機関として外来診療を中心に地域医療を提供しており、岩手県立二戸病院と連携している。
・現在、12床全てを休床としている。今後、地域の医療需要を参考にしながら、病床機能のあり方を検討していく。

具体的対応方針(九戸地域診療センターの役割と機能)

所在地： 九戸郡九戸村大字伊保内第7地割35番地1

診療所名： 岩手県立二戸病院附属九戸地域診療センター

1 診療科目

診療科目	内科、精神科、外科
------	-----------

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
	R7報告	0	0	0	0	19	19
	R7見込	0	0	0	0	19	19

3 その他(他の医療機関との機能連携等)

--

具体的対応方針(松井内科医院の役割と機能)

所在地: 岩手県二戸郡一戸町一戸字本町58

診療所名: 松井内科医院

1 診療科目

診療科目	内科・呼吸器科・循環器科・消化器科・神経内科・アレルギー科
------	-------------------------------

2 病床機能

病床機能 (稼働)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	合計
	R7報告	0	0	0	0	19	19
	R7見込	0	0	0	0	19	19

3 その他(他の医療機関との機能連携等)

・呼吸器疾患、アレルギー疾患の検査、治療を専門的に行っており岩手県立二戸病院、岩手県立一戸病院、県立中央病院、岩手医科大学と連携をしている。平成26年8月より看護師等のスタッフ不足により19床すべてを休床としている。今後地域の医療需要とスタッフの充足度を参考にしながら病床の転換ならびに廃止を検討していく。